



ようやく猛暑が遠ざかり、秋の気配が感じられるようになってきました。  
じっくり読書をしたり、考えをまとめたりするにはふさわしい季節です。  
これからの取組みを考えるために、ぜひ教育ライブラリーの図書をご活用ください。  
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。  
教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日にも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

## 書籍紹介

### ① 「個別最適な学び・協働的な学びを実現する『学びの文脈』」

樺山敏郎/著 (明治図書 2022年発行)

令和3年1月、中教審答申で「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化」が示されたとき、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」という授業改善の視点は一体どうなってしまったの？これらはどう関連付けたらいいの？このような疑問を持たれた方はいないでしょうか。

元文部科学省国立教育政策研究所学力調査官(兼)教育課程調査官の樺山敏郎氏が著した本著は、「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化」や「主体的・対話的で深い学び」のそれぞれの基本的な考え方が分かりやすく解説されている上に、それらを関連付けて説明してくれているところが大きな魅力です。

書名の「学びの文脈」とは、「教師が教えたいことを、子供が学びたいことに変えること」という理念を根底に据えた言葉。「学び」という営みは、目的や動機、意図、取り巻く環境、空間や時間などの要素が絡み合いながら展開するものとして、教師自身が文脈を意識しながら子供の視座に立って「学び」をデザインする重要性を説いています。

最後の章には、「個別最適な学び」「協働的な学び」の文脈を創る実践プランが示されており、これもまた必見です。本著で語られてきた理論がどのような指導に具体的に落とし込まれているのかがよく分かります。また反対に、実践プランの具体的な指導から、令和の日本型学校教育の姿を改めて理解することもできます。

### ② 「発達障害の子どもたち」

杉山登志郎/著 (講談社 2007年発行)

「マンガでわかる発達障害の子どもたち 自閉スペクトラムの不可解な行動には理由がある」

本田秀夫/著 (SBクリエイティブ 2023年発行)

「イラストでわかる特別支援教育サポート事典 『子どもの困った』に対応する99の実例」

笹森洋樹/編著 (合同出版 2019年発行)

「発達障害の子 遊んでホメて 楽しく育てる かかわる力から生活する力へ」

三好照恵/著 (ぶどう社 2013年発行)

発達障害に関する本は教育センターにも多数ありますが、その中から4点紹介します。『発達障害の子どもたち』は発行されてから20年近く経ち、障害の呼称が今とは異なっている部分もありますが、長年、発達障害の子どもたちの診療や療育に携わってきた著者の症例解説や成長後を見据えた助言は含蓄に富みかつ的確で、今でも教えられることがたくさんあります。『マンガ

『わかる』は、発達障害の中でも自閉スペクトラムの特性がある子どもたちの行動を20の事例にまとめ、それぞれのケースについて、特有の行動が自閉スペクトラムのどのような特性から生まれるのか、どのように対応することが望ましいのかを、たいへん具体的に平易な言葉で説明してくれます。著者によれば、自閉スペクトラムは病気というより、多数派に合わせて作られている社会で困難を感じている少数派。その特性を理解してやり方や環境を調整することで、子どもたちはもっと生きやすくなるはず。子どもたちを見る著者の温かいまなざしが感じられる本です。

『イラストでわかる』は、教室で起こる「子どもの困った」行動について99の事例ごとに、Q&A形式で、その背景と具体的な対応例をいくつか紹介してくれます。事例ごとに見開き2ページで構成されていてたいへん読みやすく、日々の困った問題に対処する際、参考になる内容です。最後に『発達障害の子 遊んでホメて』は、高松市内で社会福祉法人を立ち上げた著者が、発達障害児を育てた自身の子育てを例に「3歳から小学生の間に、ホメながら、遊びながら、楽しく『生活する力』を育てていった」取り組みを紹介しています。何よりも前向きで明るいそのポジティブさに元気をもらえます。

## 雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	10月号	<b>【特集】</b> 書くこと指導全解剖 - 日記、報告文、意見文から創作まで ◇<徹底解説>「書くこと」で教える文種と指導の要点 ◇<名人直伝>「書く習慣」をつける指導法 ◇文種別「書くこと」指導テクニック&アイデア <b>【連載】</b> ◇言語化する力を哲学する 「論理」はそんなにえらいのか？ ◇感情語彙の探究学習を表現学習と組み合わせる ◇生成AIを活用した授業づくり 国語教師ができる生成AI活用とは
社会科教育 (明治図書)	10月号	<b>【特集】</b> 主体的に考える力をつける！現代につながる歴史授業 ◇単元で考える視点と「問いの立て方」 ◇小中高接続のポイント ◇体験型授業×当事者意識 効果を高め現代につながるポイント ◇「戦争体験」と向き合った平和教育 現代につながるポイント ◇主体的に考える力をつける！現代につながる歴史授業モデル (小/中/高) <b>【連載】</b> ◇大人もハマる最新授業ネタ 小林一三と発展する大阪 ◇地理授業デザイン 養殖漁業のリアルと地理授業デザイン
新しい算数研究 (東洋館出版社)	10月号	<b>【特集】</b> 他教科との関連を軸に算数教育を捉え直す - 教科横断的な視点からみた算数教育の展望 ◇算数を中核とした教科横断的な学習指導-重視したい事柄の明確化 ◇社会的オープンエンドな問題を用いた算数の授業 ◇「デザイン」を視点に算数科と図画工作科の横断的な学びを考える ◇自然現象の分析・考察:「理科」に着目した算数科の授業 ◇社会現象の分析・考察:「社会・保健体育科」に着目した算数科の授業
数学教育 (明治図書)	10月号	<b>【特集】</b> 生徒のやる気が変わる！導入5分のテクニック ◇動画から教具、話術まで生徒を授業に引きこむテクニック ◇復習、小テストのテクニック ◇予想から誤概念、批判的思考まで問題提示のテクニック

		<p>◇学年別 導入で使える数学小話</p> <p>【連載】◇高等学校数学科「探究的な学び」の授業デザイン</p> <p>◇問題発見する力を育てる数学授業づくり 探究への扉を開こう</p>
理科の教育 (東洋館出版社)	10月号	<p>【特集】「学習支援」に活かす「学習評価」</p> <p>◇フォーマルな評価とノンフォーマルな評価、インフォーマルな評価</p> <p>◇資質・能力の育成につなげる学習評価の充実－小学校理科における「指導と評価の一体化」に向けて</p> <p>◇「指導と評価の一体化」を実現する学習評価－国際バカロレア中等教育プログラムにおけるルーブリックを用いた観点別評価</p> <p>◇学習評価を活かした学習支援の実践例</p> <p>【連載】◇生徒をひきつける観察・実験 表面張力</p> <p>◇概念構築を目指した探究型授業 モデル実験で反射の法則を見いだす</p> <p>◇先生はサイエンスマジシャン なぜ牛乳は「ろ紙」を通過するのか</p>
英語教育 (大修館書店)	10月号	<p>【特集1】みんなでやれば効率的・効果的 英語科で取り組む授業改善</p> <p>【特集2】「階層式マッピング」で鍛える「思考・判断・表現」</p> <p>◇「インタビュー・マッピング」と「探究コーラル(珊瑚)マップ」で「つなげる力・広げる力」を飛躍的に高める</p> <p>【指導】◇チーム中学高校英語 サステナブルな授業磨き ◇小学校英語授業のアイデア Box ◇中学校文法事項導入の型づくり ◇はじめてみよう辞書指導 ◇CLIL型英語授業 ◇英語教育そもそも談話室</p> <p>◇[実録マンガ]英語教員よもやま話</p> <p>【英語・ことば】◇ENGLISH DETECTIVE ◇英語史の散歩道</p> <p>◇比喩表現・慣用表現の諸相 ◇英語指導に活かせる日本語文法講座</p> <p>【研究・情報】◇A to Z for SDGs ◇生成AI活用術研究所 ◇AI時代の英語教育研究 ◇ICT活用の大ワザ・小ワザ</p> <p>【教養】◇Alice in Wonderful Words ◇洋楽名盤遺産</p>
道徳教育 (明治図書)	10月号	<p>【特集】考え、議論したくなる授業に変わるしかけ大全</p> <p>[授業編]教材研究・授業構想/導入・教材提示/発問・問い返し/話し合い/板書/終末・振り返り</p> <p>[ツール・アイテム編]教室環境/思考ツール/ICT・生成AI活用</p> <p>◇論説/道徳授業で主体的に考え、議論するためには</p> <p>◇「考え、議論する」道徳授業を支える教室づくり</p>
授業力&学級経営 力 (明治図書)	10月号	<p>【特集】子どもに「教える   任せる」の境界線</p> <p>◇達人教師の「教える   任せる」の境界線</p> <p>◇&lt;誌上座談会&gt;子どもにどこまで「任せる」べきか?</p> <p>◇どこまで教える?どこから任せる?自立につなげる学級づくり</p> <p>◇どこまで教える?どこから任せる?主体的学習につなげる授業づくり</p> <p>◇教師はどう動く?自由進度学習のマネジメント</p> <p>【連載】◇「ゆるアツ」学級経営 熱意と柔軟性の2学期戦略</p> <p>◇授業発問 名人の法則 みえないものをみせる</p>
生徒指導 (学事出版)	10月号	<p>【特集】生徒を「支える」キャリア教育</p> <p>◇今日のキャリア教育がめざすもの</p>

	<p>◇キャリア教育を支えるキャリア・カウンセリングとは</p> <p>◇職場体験活動・インターンシップの現在</p> <p>◇日常的なキャリア教育の要としての特別活動</p> <p>◇育つ仕掛けは「場」「手法」「視点」でつくる</p> <p>【巻頭インタビュー】少しでも「呼吸しやすい」学校にしたい/堀 静香</p> <p>【連載】◇新しい時代に求められる人の情けに基づく「支援」</p> <p>◇生徒が考え、判断するための情報モラル教育 PBL型情報モラル教育</p> <p>◇リーダーのための教育視座 地域移行に思うこと</p> <p>◇生徒指導案件における対応②〈万引き・窃盗〉</p> <p>◇不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果に係る成績評価について</p>
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>10月号</p>	<p>【巻頭企画】「朝鑑賞」で子どもが変わる、教師が変わる</p> <p>【特集1】学校における「職」と「組織」と「マネジメント」 －「新たな職」も「既存の職」も生かすために</p> <p>◇自校の「職」は機能していますか？</p> <p>◇「学校のマネジメント体制の充実」とは、結局何をどうすることか</p> <p>◇(若手・中堅教師アンケート)「新たな職」につきたいですか？</p> <p>◇「新たな職」のもたらす効果と、それを引き出すための方策</p> <p>◇(座談会)「今、満足してる？」主幹教諭のホンネ</p> <p>◇副校長・教頭「職」こそ抜本見直しを</p> <p>【特集2】先生方の「やる気」を奪うのは、何のせい？</p> <p>◇「やる気」は、その先生だけの問題？</p> <p>◇(読者アンケート)日常の小さな「やる気」をなくす瞬間</p> <p>◇“やる気低下スイッチ”を刺激する面談のNG言動</p> <p>◇先生方の「やる気」を削がない、チームの雰囲気づくり</p> <p>【連載】◇“辛口の友人”としてのコミュニティ・スクール</p> <p>◇副校長・教頭のワクワク学校づくり 保護者対応から保護者投合へ</p> <p>◇学校に合わない子どももいます。たとえば、私と子どもたち。</p>
<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>10月号</p>	<p>【巻頭言】豊かな経験が人をつくる/日比野克彦</p> <p>【特集1】地域社会との連携を生かした教育活動の充実</p> <p>【特集2】算数科における資質・能力の育成と子供のつまずきの解消</p> <p>【教育の扉】自分の時間を積み重ねて/深谷かほる</p> <p>【連携】◇StuDX Style 子供も教師も相互に交流する協働的な学びの工夫</p> <p>◇子供が輝く学校づくり 夢中で★チャレンジ みんながみんなの応援隊</p> <p>◇知的障害特別支援学校における地域社会との連携を生かした教育活動の充実</p>
<p>中等教育資料 (学事出版)</p> <p>10月号</p>	<p>【特集】(中学校)各教科等を交えて語り合う①～資質・能力の明確化～</p> <p>◇言語活動を通して資質・能力の確実な育成を目指す国語科の授業づくり</p> <p>◇中学校音楽科における資質・能力の考え方</p> <p>◇中学校外国語科における資質・能力の明確化と育成のポイント</p> <p>◇資質・能力育成の教育課題</p> <p>【連載】◇地域ボランティアと同好会「ふるさとを愛する会」</p> <p>◇ICT 端末の効果的な活用による生徒主体の授業づくり</p> <p>◇各教科の改善/充実の視点</p>

<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p> <p>10月号</p>	<p><b>【特集】</b>豊かなコミュニケーションにより主体性を育むかわり  ◇作業療法士によるコミュニケーション支援  ◇保育教諭・作業療法士の協働と身体を通じたコミュニケーション  ◇地域の小・中学校における多様な視点からのコミュニケーション支援  ◇フリースクールが大切にしたい子どもの主体性と場の在り方</p> <p><b>【連載】</b>◇ポジティブな行動を支える PBS ◇子どものよさを生かした自立活動 ◇特別支援教育コーディネーターのオシゴト ◇目の未来を支える高校通級 ◇管理職のワザ ◇旬のあの人にインタビュー  ◇教師の「お悩み」相談所 ◇不器用さのある子への算数支援  ◇ココロとカラダの緊張をゆるめるケア</p> <p><b>【トピック】</b>インクルーシブな先進教育</p>
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p> <p>10月号</p>	<p><b>【連載】</b>入試と合理的配慮－支援を縦に横につなぐ連携  ◇高等学校入学者選抜における受検上の配慮について  ◇中学校と高等学校等との切れ目のない支援に向けて  ◇学びの特性を理解して挑む高校入試  ◇高等学校における合理的な配慮  ◇実践から見える入試における合理的配慮のポイント</p> <p><b>【連載】</b>◇自立活動ホップ・ステップ・ジャンプ「健康の保持」の項目を含む指導  ◇今こそ知りたい特別支援教育の基礎知識 ダウン症の理解と支援  ◇日々の授業に「ちょこっと ICT」生活単元学習における個の ICT 活用  ◇小学校通級指導教室をハブとして、人と人とを「つなぐ」実践</p>
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p> <p>9月号</p>	<p><b>【特集】</b>読書バリアフリー はじめの一步  ◇「バリアフリー図書」を知っていますか？  ◇手で読むバリアフリー資料  ◇聴くバリアフリー資料 マルチメディア DAISY  ◇目で見るとバリアフリー資料 大活字本と LL ブック  ◇言葉のバリアフリー絵本 ◇読書補助具 ◇読書支援アプリ  ◇読書バリアフリー体験セットの貸出し  ◇「サピエ図書館」の概要と利用方法について  ◇みなサーチ（国立国会図書館障害者用資料検索）のご紹介</p> <p><b>【連載】</b>◇きらり！学校司書 探究を支える学校図書館にするには  ◇心に届く読み聞かせ メリハリのある読み聞かせ</p>
<p>高校教育 (学事出版)</p> <p>10月号</p>	<p><b>【特集】</b>どうなる？ どうする？ 部活動  ◇高校部活動の現状と課題  ◇運動部活動の意義と価値、そして課題改善に向けて  ◇高校生の芸術文化活動の在り方－全国高等学校文化連盟の立場から  ◇総合型地域スポーツクラブ導入を軸とした部活動改革  ◇なぜ部活動指導の転換を考えられたか－教員から始める部活動改革</p> <p><b>【巻頭インタビュー】</b>「外」からみた教育界の課題（上）</p> <p><b>【速報】</b>今後の教師の処遇改善策を中教審が答申</p> <p><b>【連載】</b>◇2040年、教育の旅 北海道発、遠隔授業の最前線  ◇マンガと探究を通じて魅力化－関係者の協力で全国初の「マンガ学科」が実現 熊本県立高森高等学校</p>

		<p>◇「探究科」校長！荒瀬克己の「おとなの探究基礎」</p> <p>◇シン・高校教育論 ある一大学の動きからこれからの高校教育を考える</p> <p>◇学校をおもしろくする思考法 1カ月超の夏休みは必要か？/妹尾昌俊</p> <p>◇新タイプの公立高校で教育格差是正を目指す米国の挑戦：チャータースクール</p> <p>◇高校教育のアキレス腱 病休の教員を減らすために</p> <p>◇探究レポート！ 改めて確認したい探究の「定義」と現実</p>
道徳と特別活動 (文溪堂)	10月号	<p><b>【特集1】</b>ここが変わった・変わらない「私の指導」 —現行学習指導要領での指導を振り返って—</p> <p>&lt;道徳総論&gt;特別の教科化後の成果と課題、より充実した道徳科にするための視点</p> <p>&lt;特活総論&gt;特別活動における実践的展開と課題</p> <p><b>【特集2】</b>自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きる子供を育てる道徳教育 —全国小学校道徳教育研究大会に向けて—</p> <p>&lt;総論&gt;「特別の教科 道徳」の授業改善に向けて</p> <p>&lt;各論&gt;主体的に考え、伝え合い、響き合う授業づくり</p>
学校事務 (学事出版)	10月号	<p><b>【特集】</b>子どもの学びを保障する就・修学支援</p> <p>◇公的な就学・修学支援制度の全体像</p> <p>◇「就学援助制度」において事務職員ができること</p> <p>◇保護者と一緒に子どもの学ぶ権利を保障する —特別支援教育就学奨励費事務改善の取組を通して</p> <p>◇子どもの貧困・教育支援に取り組む非営利団体の活動</p> <p><b>【特集関連企画】</b></p> <p>使ってみよう！外国にルーツをもつ子どもの修学支援ツール</p> <p><b>【セミナー報告】</b>「学びの環境整備」に向けて —主体的・対話的で深い学びを支える学習環境</p> <p><b>【連載】</b>◇人の動きにフォーカスした事務用品棚リフォーム</p> <p>◇子どもの権利が満たされる学校へ 自腹に支えられる学校</p> <p>◇語ろう！学校財務 学級費廃止からはじめてみた</p> <p>◇学校徴収金事務の効率化 すべての人の負担軽減を目指して</p> <p>◇気になる教育トピック 中教審答申の解説(1)教員の「新たな職」</p>
指導と評価 (日本教育評価研究会)	10月号	<p><b>【特集】</b>自立的な学習者を育てる</p> <p>◇自立した学習者の育成のために、どこまで子どもにゆだねるか</p> <p>◇「自立した学習者」を育てる授業のアイデア</p> <p>◇自立した学習者に求められる、「上手な頭の働かせ方」(学習方略)</p> <p>◇自立した学習者を育てる、子どもと教師でつくる「学びのものさし」</p> <p>◇自己調整学習の基礎を育てる学び方の指導</p> <p><b>【連載】</b>◇コーチングスキルとほめる技術</p> <p>◇読解力の育成(小学校) —「学び方」を学ぶ—リフレクション型国語科授業の展開</p> <p>◇生徒との対話を通して個別最適な学びをめざす 書く力を中核とした授業改善</p> <p>◇言語技術としての「事実と意見の区別」—欧米型の「テキスト分析</p>

	<p>と解釈」に必要な事実の詳細な考察</p> <p>◇宿題と家庭学習 ー教室と家庭をつなぐ宿題と家庭学習の昔といま、そしてこれから</p>
<p>教育ジャーナル (Gakken)                      26号</p>	<p><b>【特集1】</b>「未来を創る力」を育てる</p> <p>◇物事は「変えられる」ことを生徒に学んでほしかった 新潟市立内野小学校・制服リニューアルを通して</p> <p>◇「ボール遊びができる場所がほしい」という子どもの声から始まった 川崎市内の小学校「みんなの校庭プロジェクト」</p> <p><b>【特集2】</b> 2024年度全国学力・学習状況調査の結果より 子どもたち&amp;教職員のウェルビーイング</p> <p><b>【連載】</b> ◇傷つきのある子どもへのかかわり</p> <p>◇AI時代の教育を考える AIを上手に使うって、新たな可能性を！</p>